

タイトル「2021年度 人間学部」、フォルダ「大学 人間-人間福祉学科」
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	家庭に対する支援と家庭福祉制度		
英文科目名	Family Welfare and Social Support System	他学部他学科履修可否	○
担当教員	森和子		
対象学年	2年,3年,4年	クラス	1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	火1	単位区分	必,選択
授業形態	講義	単位数	2
キャリア該当科目			
備考			
ディプロマポリシー	<p>1. 社会的課題とりわけ人権にかかわる課題への洞察力や、対人援助能力などを活かして、社会福祉に関連する課題を解決することができる能力を獲得する。</p> <p>2. 社会福祉に関する専門的知識や技術を身に付け、それらを実際の社会におけるさまざまな場面で活用することができるようになる。</p>		
授業の目的・到達目標	<p>わが国の家庭は、経済成長に伴って生じた都市化、核家族化、少子化等のさまざまな現象は家族機能の低下や家族関係の脆弱化を招いている。これらを踏まえ、現代家族における養育、扶養、介護などの具体的な問題を紹介し、課題や支援方法ならびに社会的責任としての新しい家庭福祉のあり方について学生に学ぶことができることを目的とする。</p> <p>到達目標は、以下の通りである。</p> <p>1) 現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活、とくにその人間関係（夫婦・親子・きょうだい）のあり方を理解すること及びそれをふまえて適切な「相談・助言」を行うことは欠かせないものであることを理解することができるようになる。</p> <p>2) それぞれの家族の中で、人が生まれてから死ぬまでの間に発生する問題やニーズに応じた多様な支援対策を提供するため家庭の福祉を図るための種々の法律や援助活動及び関係機関との連携について理解することができるようになる。</p>		
授業概要	<p>[01]家族とは何か 家庭福祉の概念と理念 [02]家族の歴史的变化 [03]海外の家族支援 [04]現代家族がかかえる問題とは？ [05]少子化と家庭支援政策 [06]家族支援はなぜ必要か？ [07]子どもの権利からみた家族支援－社会的養護・虐待 [08]支援を必要とする家族・子ども（1）－ひとり親・ステップファミリー・障害をもつ子どもの家族 [09]支援を必要とする家族・子ども（2）－DVにさらされる家族・異文化の子ども・震災下の子ども [10]家族支援の現場から（1）－行政・保育所・子育て支援 [11]家族支援の現場から（2）－警察・児童養護施設・里親 [12]家族を支える方法 福祉のアプローチ [13]家族を支える方法 心理・看護のアプローチ [14]死別と家庭福祉 死別後の悲嘆反応とグリーフケア 命の再生と継続 [15]家庭福祉の課題とまとめ</p>		
学習演題（予習・復習）	<p><1～3回> 予習：教科書の次回の章を読んで問題点を整理して下調べをしておく（約90分程度）。復習：その日の章のキーワードと授業の内容を整理してレポートにまとめておく（約90分程度）。</p> <p><4～6回> 予習：教科書の次回の章を読んで問題点を整理して下調べをしておく（約90分程度）。復習：授業のテーマに関連するニュースや新聞記事を集めて整理してまとめておく（約90分程度）。</p> <p><7回～10回> 予習：教科書の次回の章を読んで問題点を整理して下調べをしておく（約90分程度）。復習：授業のテーマに関連するニュースや新聞記事を集め、整理してまとめておく（約90分程度）。</p> <p><11回～15回> 予習：教科書の次回の章を読んで問題点を整理して下調べをしておく（約90分程度）。復習：その日の章のキーワードと授業の内容を整理してレポートにまとめておく（約90分程度）。</p>		
授業方法	<p>授業は講義をする中で、視聴覚教材や資料を用いて具体的に理解していけるよう進める。学生は積極的に参加し意欲的な学習態度を求める。テーマによっては2-3人でグループになりディスカッションも取り入れたい。対面授業が難しい場合はオンラインによる授業とリアルオンデマンド授業を組み合わせる可能性がある。</p>		
成績評価の基準	<p>現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活、とくにその人間関係のあり方を理解し、適切な「相談・助言」を行うことを理解することができたか、一生の間に発生する問題やニーズに応じた多様な支援対策を提供するため家庭の福祉を図るための種々の法律や援助活動及び関係機関との連携について理解することができたかを筆記試験(60%)、リアクションペーパーによる理解度(20%)、発言などの授業態度(20%)により総合的に評価する。毎授業のリアクションペーパーには次回の授業でコメントをフィードバックするとともに、授業内容に対して理解度の高い記載がなされている場合は加点する。授業終了後は、質問を受け付け随時学生の疑問にフィードバックできるよう努めている。</p>		
教科書	「みんなで考える家族・家庭支援論」編著 草野いづみ 同文書院 2016年 2100円+税 ISBN 978-4-8103-1415-1		
参考書	必要に応じて指定する。		
実務経験のある教員による授業			
実務経験の内容			
実務経験の当該科目への活用			